

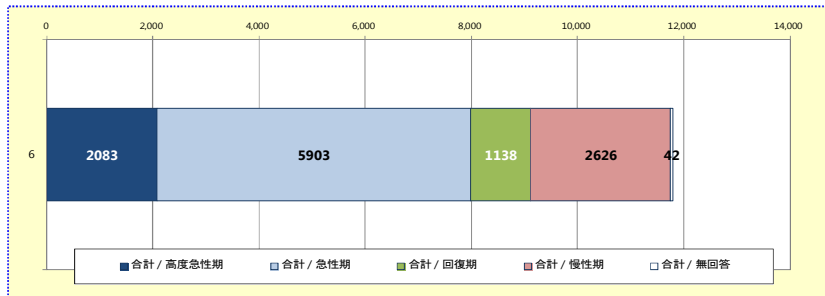
平成26年度病床機能報告(山形県)の概要

平成27年3月31日までに報告があり、病床数、医療機能に関する報告項目に不備がなかった医療機関111施設(病院54、有床診療所57)を集計した結果です。

■現 状

平成26年7月1日時点の機能として、各医療機関が自主的に選択した許可病床の機能の状況です。県全体の許可病床は11,792床となっており、高度急性期が17.7%、急性期が50.1%、回復期が9.7%、慢性期が22.3%となっています。

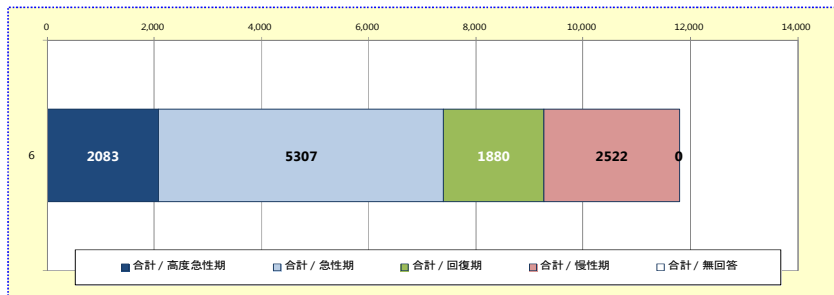
また、平成26年7月1日時点の稼働病床は11,378床となっており、414床が未稼働となっています。



二次医療圏	全体					無回答
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		
村山圏域	5,870床	1,388床	2,833床	457床	1,192床	0床
最上圏域	891床	5床	655床	84床	147床	0床
置賜圏域	2,329床	25床	1,363床	281床	660床	0床
庄内圏域	2,702床	665床	1,052床	316床	627床	42床
県計	11,792床	2,083床	5,903床	1,138床	2,626床	42床

■6年後の予定

平成26年7月1日時点から6年経過した時点の機能の予定として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。15医療機関において変更を予定しており、急性期で596床、慢性期で104床が減少し、回復期で742床が増加しています。

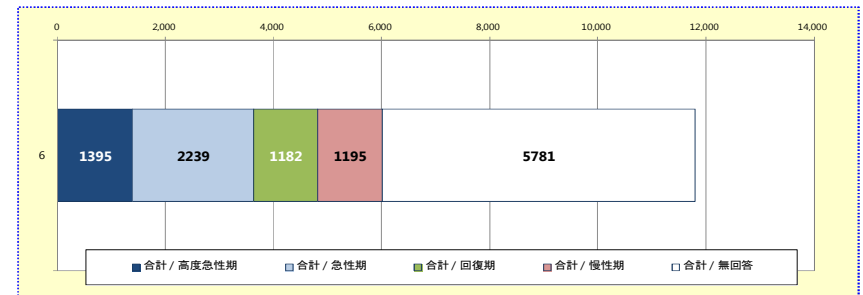


二次医療圏	全体					無回答
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		
村山圏域	5,870床	1,388床	2,575床	775床	1,132床	0床
最上圏域	891床	5床	600床	139床	147床	0床
置賜圏域	2,329床	25床	1,136床	508床	660床	0床
庄内圏域	2,702床	665床	996床	458床	583床	0床
県計	11,792床	2,083床	5,307床	1,880床	2,522床	0床

(注) 圏域の設定が現在と変わらないとした場合

■平成37年の予定

平成37年7月1日時点の機能の予定として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。任意報告ということもあり、現時点においては無回答が多くなっています。



二次医療圏	全体					無回答
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		
村山圏域	5,870床	760床	1,645床	584床	365床	2,516床
最上圏域	891床	0床	118床	99床	127床	547床
置賜圏域	2,329床	5床	348床	276床	448床	1,252床
庄内圏域	2,702床	630床	128床	223床	255床	1,466床
県計	11,792床	1,395床	2,239床	1,182床	1,195床	5,781床

(注) 圏域の設定が現在と変わらないとした場合

《注意事項》

- 各医療機関の報告内容は、構造設備、人員配置、具体的な医療の内容等も含め、県ホームページで公表する予定です。
- 病床機能報告制度の初年度であり、他の医療機関の報告状況や地域医療構想及び同構想の必要量等の情報を踏まえたものではありません。
- 平成27年度は、2025年における病床機能毎の医療需要等の推計結果に関する説明会の開催を予定しています。